

木山こうじ



活動報告 vol.18 2023年5月～6月

茅ヶ崎に新しい風を！ 茅ヶ崎の皆様こんにちは、木山こうじです。
茅ヶ崎の皆様にご報告させていただきます。

令和5年6月8日～6月29日(会期22日間)に、令和5年第2回定例会が開催されました。本定例会において、市庁舎のセキュリティ対策としてカードリーダーを増設する経費や職員の出退勤管理システムの導入経費(16,082千円)、令和5年10月に
行われる生活保護基準の改訂に伴うシステム改修関連経費(1,507千円)、認定コミュニティが実施する事業に対する助成
金(2,997千円)等さまざま議案が上程されましたが、各諸議案について慎重な審議のもと、全ての議案に対し可決承認致
しました。本定例会で承認された議案をいくつかご紹介したいと思います。



■ **スポーツ振興費・体育館管理運営経費(14,135千円)**
→茅ヶ崎市体育館(旧体育館)の更なる有効活用を図るため、半面で利用可能なバスケットボール用コートを2面設置することに伴う工事請負費



何が変わる? 総合体育館の長期休館も見据え、旧体育館はこれまでバスケットボールで使用の際、全面でしか行えず同時時間帯は他の団体が使用できない状態でしたが、工事完了後は半面で行えるようになり、施設利用の効率化が期待できます！



■ **教育振興費・情報機器配備運営経費(84,563千円)**
→小中学校に総合型校務支援システムを導入する経費

何が変わる? 学籍、出欠、成績、保健等の学校生活の状況を一元管理できるようになるため、教職員の負担軽減を図ることができます。また児童・生徒が学習過程のどこでつまづいているのかなど把握することにより、エビデンスに基づく個別最適な学びの提供が期待できます！



■ **博物館費・博物館管理運営経費(25,415千円)**
→茅ヶ崎市博物館周辺の駒寄川河川管理用通路の整備費

何が変わる? 博物館周辺の駒寄川河川管理通路を整備、転落防止柵を設置するなど、当初の計画としてありましたが、資機材の高騰などにより入札不調が続いておりました。工事請負契約後、工事が滞りなく終了した際には、子どもたちに対して多自然型護岸を活用した教育活動が行えるようになり、自然の中での深い学びを提供できるようになります！



- プロフィール
- ▶ 広報広聴委員会 委員長
 - ▶ 文化教育常任委員会 委員
 - ▶ 議会運営委員会 委員
 - ▶ ICT活用推進協議会 委員
 - ▶ 元北京オリンピックテコンドー 日本代表強化指定選手
 - ▶ 茅ヶ崎アマチュアボクシング協会 会長
 - ▶ NPO法人 子どものための国際音楽交流協会(AIMEC) 会員
 - ▶ 関東学院大学「煤葉会」 湘南支部 副支部長



インスタグラム・FB・ツイッターで日々の活動を発信しています。

お気軽にフォロー
お願いします！



木山こうじと茅ヶ崎の未来を作る会
☎ 080-3004-5023
〒253-0006 茅ヶ崎市堤77-1 マリヴァノン1-203

木山こうじ 検索





【一般質問(※)】をしました!

※議員が、その属する地方公共団体の行政全般にわたり、執行機関(市長等)に対し事務の執行状況および将来に対する方針等について、所信を質し、あるいは報告や説明を求め、または疑問を質すこと。

1 スポーツ環境について

- (1) 中学校部活動地域移行の進捗について
- (2) 必修化された武道・ダンスの意義や効果、地域連携等について
- (3) 総合体育館改修期間の対応と、市内体育施設管理の効率化について

2 自転車のまち、茅ヶ崎について

- (1) 第2次自転車プランの検証、自転車活用推進法との整合性について
- (2) 自転車利用のルール遵守、マナー向上に向けた実効性のある取り組みについて

↓ こちらの質問についてご報告いたします ↓

3 グローバル人材育成について

(1) 英語学習環境の向上、英語教育の質の向上、「生きた英語」を提供することについて



← 映像配信はこちら

QUESTION 質問(木山)

世界でグローバル化が加速する中、日本の英語能力は依然として低いレベルにある。本市の**英語教育の現状と考え方**などについて伺う。

ANSWER 答弁(教育長)

本市では、小学校学習指導要領の改訂により、英語教育の充実を目指し、「小学校外国語教育ガイドライン」を作成しており、目標は「英語を通じたコミュニケーション能力の育成」としています。**小学校ではコミュニケーションを意識した外国語活動**を取り入れ、**中学校では日常や社会の話題で英語で考えや気持ちを表現する学習**を重視しており、また外国語教育支援員やALTの配置により、実践的なコミュニケーションを通じて外国の文化に触れる機会を提供しているところです。

QUESTION 質問(木山)

コミュニケーションを図る素地・基礎となる資質・能力を育成することを目標とするのであれば、なおさら文法や読解だけでなく、**スピーキングやリスニングのスキルを総合的に強化するカリキュラムを設計する必要はあるのではないか。**

ANSWER 答弁(教育指導担当部長)

学習指導要領では、小学校と中学校の英語教育において、**コミュニケーション能力の育成と主体的な学びを重視しています。**授業では、相手や目的・場面・状況を明確に設定し、内容のあるコミュニケーション活動を行い、児童・生徒が英語を使う機会を創出しています。また、小学校と中学校の教員が協力し、授業参観や指導案・教材の共有を通じて連携を図り、教員の英語力や指導力の向上に取り組んでいます。さらに、各学校のニーズに合わせた研修会や柔軟な指導内容の調整を通じて、教員の授業改善を支援しています。

QUESTION 質問(木山)

コミュニケーション能力の向上にはアウトプットをどのように行っていくかが重要である。本市もALTを配置しているが子どもの数に対するALTの数、予算規模は他市町村と比べても決して多くはない。**ALTの人員体制など現状と課題、活用方法**等伺う。

ANSWER 答弁(教育指導担当部長)

小学校では学級の雰囲気と児童の実態に合った外国語授業を行い、英語専科教員やALTとの協力を活用して計画・実施しています。学級担任が中心となり、児童の実情や学習過程、指導計画につながる授業を意識しています。また、児童が**ALTに学んだことを伝える活動に取り組むことで英語の必然性や意欲が高まる**ため、中学校ではALTを活用し、学習場面で既習事項を活用しながら課題解決を図り、実践的な経験や高い目標を提供しています。インプットとアウトプットの活動を通じて、効果的な学びのサイクルを構築しています。

QUESTION 質問(木山)

さいたま市はALTと一緒にカリキュラムを作成するなど、独自の英語学習環境を構築している。「生きた英語」を習得させるために、個々の児童生徒のレベルやニーズに合わせた指導、学習の進行具合よっての個別対応など臨機応変な対応等含め、**本市独自の英語学習環境を構築するべきではないか。**

ANSWER 答弁(教育指導担当部長)

本市の小・中学校では、従来の文法や語彙の習得から実践的なコミュニケーション力の向上に焦点を移し、児童・生徒が英語を使って何ができるかを重視した授業改善を目指しています。姉妹都市のホノルルの学校との交流活動も取り組まれており、オンラインやメールを通じて言語や文化の紹介、作品の交換などを行っています。これにより、児童・生徒は**直接的な体験を通じてコミュニケーションの楽しさや外国の文化への興味を高め、将来の自己実現に影響を与える効果が期待されています。**個別学習にも端末を活用し、質の高い授業の実現と外国語教育の充実に努め、今後も様々な自治体による特色ある取組を参考にしながら、本市の外国語教育の充実に努めてまいります。